
エースコンバットX2 VIPER ZERO

ATD-X

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

エースコンバットX2 VIPER ZERO

【Nコード】

N9762Z

【作者名】

ATD-X

【あらすじ】

20XX年。航空自衛隊第三航空方面団所属のF-2乗り、深川健介准空尉はスクランブル任務で爆装した国籍不明機に接近。その後国籍不明機と交戦状態に入り撃墜。責任を取らされる形で辞職。日本での再就職は困難を極め、アメリカの民間軍事会社で働くことになった。

彼が所属するのはM42飛行中隊第三飛行隊ダイバー。しかも隊長。彼は個性的なメンバーに四苦八苦しながらも徐々に慣れていく。だが、裏ではとてつもない陰謀がうごめいていた。

極東戦記が一段落つく前に書いてしまったもの。
前々から構想を練っていた小説のひとつ。ぜひ、ご覧あれ。

ブログ（前書き）

間違えて、短編に投稿してしまったWWW。

プロローグ

西暦20XX年

アメリカ合衆国、ニューヨーク市。マーティネズ・セキュリティ
本社前。

「ここがそうか。」

そういつて俺は世界に名だたる民間軍事会社の入り口に入る。

俺の名前は深川 健介。元航空自衛隊のF-2乗りだ。

何でこんなところにいるかと言えば半年前に

スクランブル任務で太平洋方面から向かってくる、対象機に警告し
ようとしたら

いきなり攻撃を受けて反撃したからだ。

不味いと判断した俺は独断で撃墜した。因みに機種はF-4だった。

あのF-4は何者だろう？。

国籍マークがかかれて居なかった。

普通なら問題ないだろうが、撃墜したことは平和ボケした日本では
不味かったらしく

色々と問題になった。そして、俺が責任を取る形で自衛隊を退職し
たわけだ。

その後、一躍時の人となってしまった俺は日本での再就職は困難を
極めた。

そこで、外国の企業に就職知ればいいじゃない。と言うことでF-
2乗りの経験を生かせて、設備とかも充実しているマーティネズ・
セキュリティの面接を受けに渡米、様々な手続きを行い今に至る。

受付嬢から指定された部屋に行き待機する。

用意されているパイプ椅子に座り面接官が来るのを待つ。

「待たせたな。」

暫くすると黒人の佐官が入ってきた。
すかさず起立し敬礼の体制をとる。

「私はM42飛行中隊の指揮官。フレデリック・バーフォード中佐だ。今回の君の面接官を勤める。」

「自分は、元航空自衛隊、北部航空方面団、第三航空団隷下の第三飛行隊所属。深川 健介元准空尉です。」

「そこまで言わなくてもいいんだが……まあ、座つてくれ。」

着席し、バーフォード中佐と机をはさんで向かい合わせになる。

「さて、早速だが君の面接を始める。」

そして、この企業を受けた動機から始まり、戦闘機乗りになった理由。自分が希望する業務内容、機体、自己アピールなど。エトセトラエトセトラ。

「さて、最後の質問だが、君は戦後の日本で始めて敵を撃墜したわけだが、何か後悔していないか?。」

「ありません。確かに、自分の独断で撃墜したのは自衛官として不味いですが、仕事ですし、仲間が危機に陥っていた以上、見過ごすわけにはいきません。」

それに、爆装していて空爆する可能性も否定できませんしね、と付け足す。

「なるほど。それが君の意見か。」

と書類にメモをしながら呟くバーフォード中佐。

「さて、これで面接を終了する。合否の通知は三日後に連絡する。」

「ありがとうございます。」

そして、マーティネズ・セキュリティー社を出て、現在泊まっているアパートに入る。

そして、日用品を買ったり、ジョギングをしたり、料理をしたり、アニメやライトノベルを見ながら三日間を過ごす。

三日後にマーティネズ・セキュリティーから連絡が来た。

面接のほうは合格。配属される部隊は壊滅したM42飛行中隊第三飛行隊の隊長を務めることになった。

それにしてもまさか、いきなり隊長になるとはな……。一応、指揮のほうは経験はあるからできなくは無い。

ま、やれるとこまでやってみるか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9762z/>

エースコンバットX2 VIPER ZERO

2011年12月30日13時48分発行